

■事後評価制度に関する主な意見と対応の方向性

赤字：今回の検討事項
青字：次回以降の検討事項

資料2

	主な意見	反映する項目	対応の方向性
総論	・マスタープラン等にフィードバックできる仕組みが必要 ・後々のプロジェクトのプロトタイプとして事前明示できるとよい	事後評価書	・事後評価書（考察）の記載方法の検討、特出した取組について事例集を作成
	・空間像の評価がない。バックカスティング型で評価		・マスタープラン等の上位計画と整備内容の対比を事後評価書に詳細に記載
各論	・単一の事業区域だけでなく、広く周辺を含む都市基盤整備に寄与している点も評価 ・周りの道路や緑についても現状を把握して、ネットワークとしてうまく作られているかどうかを評価	都市基盤整備	・評価指標に「道路・公園ネットワーク」を追加 ・評価内容に「ネットワークの整備」を追加
	・バスアクセス等の交通アクセスについても事後評価できるとよい		・評価内容に「駅前広場整備」を追加
	・安全確保や快適歩行、移動容易性を踏まえたときにどういった工夫ができるかという評価の指標が必要		・評価指標に「利用者の快適性」を追加 ・評価内容に「利用者の安全確保や快適歩行、移動容易性等に対する配慮・工夫」を追加
	・再開発事業として法令等の規定を超えて整備された防災施設（ハード）と防災機能（ソフト）の評価をもう少し際立てる必要	都市防災	・評価基準に「地域防災協議会、駅周辺滞留者対策推進協議会への参加」等の追加を検討
	・地域の人々の巻き込み力や多様性等を考慮した項目（外国人や若者がまちづくりに参加している等） ・建築タイプを評価	居住・快適性（建物整備）	・評価項目（小項目）に「建物整備」を追加 ・評価指標・評価内容に「多様な利用者への配慮」を追加
	・管理組合等の治安・警備等を含めたマネジメント（周辺の町会等との連携、催し物や情報共有等）を評価 ・治安が心配な面もあるので、開放的な空間、視認性、まちの明るさなどの取組みを評価	居住・快適性（建物整備）	・評価項目（小項目）に「防犯への取組み」を追加 ・評価指標「取組み状況」、評価内容に「防犯に対する配慮・マネジメント」を追加
	・隣接地区で共同で街づくりを検討してきた経緯など、再開発事業を超えて地域のまちづくりに貢献する部分を評価 ・地域と連携した取り組みの評価	調和性・活力（地域創造）	・評価内容に「隣接地区との連携等による地域のまちづくりへの貢献」を追加
	・芸術作品を設置した回数や舞台等に触れる機会の回数等を評価 ・文化やアートといった評価項目	調和性・活力（歴史・文化）	・評価指標に「地域文化振興への貢献」、評価内容に「芸術作品の設置や芸術に係る催しの開催等地域文化振興への貢献度」を追加
	・環境の分野は大項目化 ・生物多様性などの特色ある取組みを評価	都市緑化（生物多様性）	・大項目に「環境への取組み」を追加 ・中項目に「都市緑化」、小項目に「生物多様性」を追加 ・評価指標に「生態系保全に資する整備状況」 ・評価内容に「ビオトープ等生態系保全を意識した環境整備への取組み」を追加
	・崖線や緑の連続性損なわない開発の評価 ・広場などを含めて緑を評価 ・緑の取組について評価手法が定性的な内容に偏っているため、定量的に評価できる仕組み	都市緑化（植栽水準）	・中項目に「都市緑化」、小項目に「植栽水準」を追加 ・評価指標に「緑の整備水準」 ・評価内容に「緑化率等」を追加
	・カーボンニュートラルを意識して基準や項目を検討	脱炭素（エネルギー）	・中項目に「脱炭素」、小項目に「エネルギー」を追加 ・評価指標に「利用するエネルギー」 ・評価内容に「先進技術の導入や効率的エネルギーシステムの活用等CO2排出抑制への貢献」を追加
・パーソナルモビリティの問題をどう位置付けるか	脱炭素（モビリティ）	・中項目に「脱炭素」、小項目に「モビリティ」を追加 ・評価指標に「CO2抑制への取組み」 ・評価内容に「充電施設、駐車施設等の設置状況」を追加	
・基盤整備+空地+建築計画を一体で評価 ・建築のデザインに関する項目 ・まちを良くするための公共性を助成していく取組、仕組み	創意工夫・独創性	・創意工夫・独創性の評価の考え方、例示の追加を検討	
その他	従前の権利者は満足しているかを評価できないか	理事長ヒアリング	・従前の再開発組合の理事長等へのヒアリングの強化、アンケート等の自由意見で対応検討
	一般的に守らなければならない項目に加点する必要があるか	加点方法	・第2回委員会「評価見直し項目の評価方法、評価基準の検討」の際に検討
	アンケート回収率を上げる工夫	アンケート	・アンケート内容簡素化、WEB周知の徹底等の工夫で対応